

国内の第一線で活躍する技能者を対象とした国の制度「現代の名工」で、本年度は本県から4人選ばれた。9日に都内で表彰式が開かれ、宮大工萩原侯員さん(57)=高崎市、左官の中沢真澄さん

(65)=東吾妻町、数値制御金属工作機械工の松井正志さん(47)=同、ガラス成形工の高橋明さん(62)=みなかみ町=が表彰された。

左官

中沢 真澄さん(65)

東吾妻町川戸



一塗り一塗りに魂を込める。繊細に美しく仕上げられた壁は建物の耐久性を高め、居住空間を快適にする。左官職人として半世紀。「常に勉強。まことに本気でやりたい」と変わらぬ向上心を持ち、精進を惜しまない。

芸術性 時間との戦い

同時に実家近くで左官業の見習を始めた。親戚に大工がいて、「ものをつくる」職人への憧れも背中を押した。セメントやしつくり、石こうなど、さまざま

「まことに本気で仕事をしたい」と語る中沢さん

は、高校卒業後から修業を立地で修復の工事に携わつていて、日本に古くから伝わる建築技術を生かし、寺の本堂や神社の拝殿などの建

積み、L字形のかね尺を用いた立体幾何学的な作

「建てたら終わりではない。100年、200年先の将来まで責任を持つのがこの仕事だ」。日本に古くから伝わる建

築技術を生かし、寺の本

堂や神社の拝殿などの建

築技術を生かし、寺の本

宮大工

萩原 侯員さん(57)

高崎市箕郷町矢原



図法「規矩術」を習得した。家業の工務店の2代目で、一般住宅も手掛けつつ「匠の技」を発揮する。川崎市など遠方での仕事もある。

趣味を兼ねて30年以上前から、年代物のかんな

現在、高崎市が進める旧箕輪城の城門の復元工事に関わっている。ケヤ

木の良さを伝え、ものづくりに興味を持つもらいたい

董市で手に入れ、実際に仕事で使用することもある。

「現代の道具に比べて機能的に劣る面もあるが、昔の大工の構えや心意気を肌で感じられる」と柔軟な表情を浮かべる。

若者たちの指導や児童生徒への魅力紹介にも力を注ぐ。「子どもたちに木の文化や日本の住まいの良さを伝え、ものづくりに興味を持つもらいたい

100年先まで責任持つ

キヤスギなどを前橋市内

の作業場で加工し、現地で組み立てる流れだが、ミスを防ぐために模型を作

製作した。仕上がりイメージを確かめながら、作業に打ち込む。

厚生労働省認定の「も

のづくりマイスター」な

どとして、職人を目指す

者たちの指導や児童生

徒への魅力紹介にも力を

注ぐ。「子どもたちに木

の文化や日本の住まいの良さを伝え、ものづくりに興味を持つもらいたい

【略歴】 東吾妻町生まれ。旧吾妻町立岩島中卒。県左官工業協同組合副理事、同組合吾妻支部長。元県左官技能士会長。